

外観



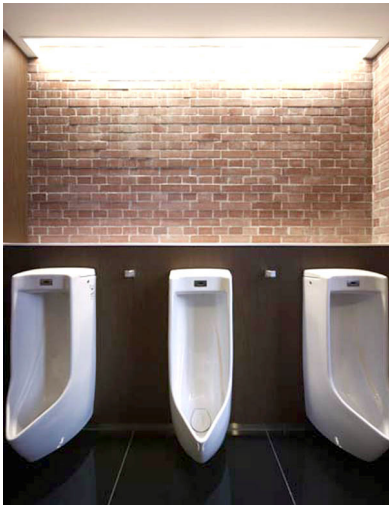
1894年(明治27年)竣工の丸の内で最初のオフィスビルを忠実に復元した、クイーン・アン様式の三菱一号館美術館(写真中央前)。

階段ホール



明治時代の手すりを再利用した階段。窓からは、三菱一号館広場の噴水や木々が見える。

男性トイレ 小便器コーナー



凹凸のあるレンガの壁面が、間接照明の光に照らし出された美しい空間。小便器は、低リップタイプの壁掛式小便器を採用。

多機能トイレ



RESTROOM ITEM 01を採用した多機能トイレには、オストメイト対応マルチバックの大型鏡・汚物流しなどの器具が設置されている。

廊下・トイレ入口



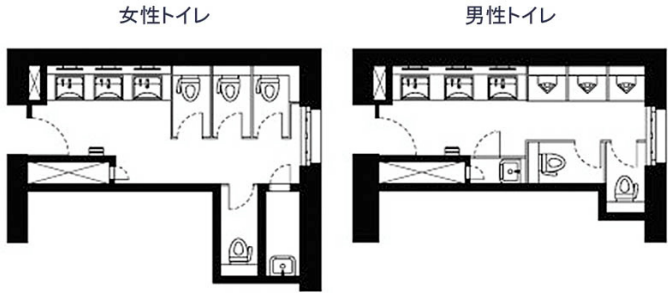
明治期の雰囲気を偲ばせる、廊下とトイレ入口。

女性トイレ 全体

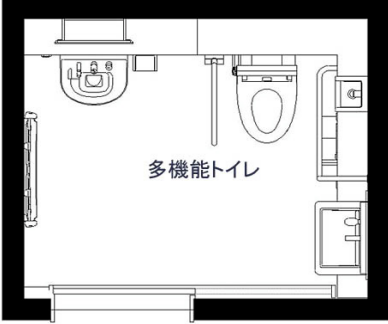


洗面コーナーには、お化粧直し時などの顔映りに配慮して、照明付きのハイクオリティ化粧鏡を設置。

トイレ図面



多機能トイレ図面



女性トイレ 大便器ブース



男女トイレとも、すべてのブースに清掃性に優れた壁掛式の大便器、ウォシュレットを採用。扉には、荷物に配慮してフックを設けた。

男性トイレ 全体



壁面は、レンガ躯体を内装に生かしたしつらえとなっている。女性トイレ同様、ハイクオリティ化粧鏡・ベッセル式洗面器を設置。

建築概要

|      |                   |
|------|-------------------|
| 名称   | 三菱一号館美術館          |
| 所在地  | 東京都千代田区丸の内二丁目6番2号 |
| 施主   | 三菱地所株式会社          |
| 設計   | 株式会社三菱地所設計        |
| 建築施工 | 株式会社竹中工務店         |
| 設備施工 | 斎久工業株式会社          |
| 工事期間 | 2007年2月初～2009年4月末 |
| 竣工年月 | 2009年4月末          |

水まわりの特長

**<建物の特徴>**  
丸の内パークビルディングとの大規模複合施設、丸の内再構築第2ステージ(2008年～2017年)の第1弾プロジェクトとなる三菱一号館。英国建築家ジョサイア・コンドルが設計し、1894年(明治27年)に竣工した、丸の内最初のオフィスビルが忠実に復元された。美術館として開館し、「文化芸術の中核施設」としてエリアの文化機能の強化を図っている。

**<トイレの特長>**  
以前は事務室として使用されていた中庭側の部屋に、新たにトイレを配置。窓からは緑豊かな三菱一号館広場が臨め、内装は躯体のレンガを現わしとした。外観の重厚感と明治時代の雰囲気をここでも感じることができる。  
美術館ということで、器具はデザイン性と環境・静音性を重視した。男女トイレとも、洗面コーナーに TOTO NEW MATERIAL よりハイクオリティ化粧鏡・ベッセル式洗面器を採用。  
多機能トイレにはRESTROOM ITEM 01を採用し、デザイン性・環境に配慮している。